

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社Free Style

(様式A-9)

訓練の種別	基礎コース ()			就職を想定する職業・職種	
	実践コース (02 IT分野)				
	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービスコース	短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)		
訓練科名	WEBアプリ実践開発科			<input type="checkbox"/> Webアプリケーションプログラマ <input type="checkbox"/> システムエンジニアの補助	
募集期間(予定)	令和 6年 11月 21日 ~ 令和 6年 12月 20日				
選考日(予定)	令和 6年 12月 25日				
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接	<input type="checkbox"/> 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (パソコン実技試験 (ファイル操作、入力、表計算、簡単な漢字の読み書き/算数問題))		
選考結果通知日	令和 6年 12月 27日				
訓練期間	令和 7年 1月 15日 ~ 令和 7年 5月 14日 (4 か月)			(訓練日数 73 日)	
訓練時間	9 時 00 分 ~ 15 時 50 分		訓練定員	15 名	
訓練対象者の条件	パソコンの基本操作ができる(起動・終了、ファイル操作、入力、表計算、編集・保存)。				
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業生	<input type="checkbox"/> ニート等の若者	<input type="checkbox"/> 障害者	<input type="checkbox"/> 母子家庭の母等	
	<input type="checkbox"/> 被災者	<input type="checkbox"/> 外国人	<input type="checkbox"/> その他 ()		
訓練目標 (仕上がり像)	IT企業において、Java、HTML、CSS、JavaScript、SQL、フレームワークを用いたチームでのWebアプリケーション開発の基本的な作業ができる。一般企業においても、業務改善や生産性向上を目的とした簡易システムの提案や構築ができる。				
訓練修了後に取得できる資格	名称 (Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 8)	認定機関 (Oracle University Japan)	<input checked="" type="checkbox"/>	任意受験	
	名称 (IT検証技術者認定試験(IVEC) IT検証技術者レベル1)	認定機関 (一般社団法人IT検証産業協会(IVIA))	<input checked="" type="checkbox"/>	任意受験	
	名称 ()	認定機関 ()	<input type="checkbox"/>	任意受験	
	名称 ()	認定機関 ()	<input type="checkbox"/>	任意受験	
	名称 ()	認定機関 ()	<input type="checkbox"/>	任意受験	
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)				<input type="checkbox"/>	
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)				<input type="checkbox"/>	
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)				<input type="checkbox"/>	
訓練概要	基本的な情報処理技術を理解して、Webアプリケーション開発に必要なプログラミング(Java)やWeb制作(HTML・CSS・JavaScript)、データベース操作(SQL)、フレームワークの知識及び技術を習得します。また訓練終了後は、実務1年生レベルを想定した模擬開発演習を行います。【IT資格】【DSS対応】 1/15開講式9:00~10:50、5/14修了式9:00~10:50				
学科	科目	科目の内容		訓練時間	
	開講式/オリエンテーション/修了式	開講式/オリエンテーション(2H)、修了式(2H)			
	ITテラシー概論	パソコンと周辺機器、社内インフラ、情報セキュリティ、業務システム、システム開発、健康管理、疾病予防、情報機器作業管理		6時間	
	Javaプログラミング概論	Java基礎、データ型・演算子・配列・ループ・条件分岐・メソッドの概要		6時間	
実技	プログラミング演習(Java言語)	開発環境、表示、計算、変数/型、if/switch/for/while、String、メソッド、配列、オブジェクト指向へ向けて		54時間	
	プログラミング演習(オブジェクト指向)	クラス/インスタンス、例外、インタフェース、GO、スレッド、パッケージ、ファイル操作、クラス検索、コレクション		54時間	
	Web制作演習	制作環境、HTML/CSS基礎、スマホ対応、CSSフレームワーク、JavaScript基礎、イベントドリブン、Ajax基礎		48時間	
	データベース操作演習	実行環境、データベースとSQL、検索・並び替え・更新、複雑な問い合わせ、関数、述語、CASE式、集合演算、アプリから接続		57時間	
	Webアプリケーション演習	サーブレット/JSP基礎、HTMLのリクエストとレスポンス、Javaとデータベースの連携、簡易なショッピングサイトの構築		54時間	
	模擬開発演習(個人)	飲料水販売管理システム開発、実装及びテスト、SVNを用いたバージョン管理、個人テストレビュー		69時間	
	模擬開発演習(チーム)	業務管理システム開発、実装及びテスト、スケジュール及びタスク管理、チームレビュー、プレゼンテーション		72時間	
	企業実習	<input checked="" type="checkbox"/> 実施しない	<input type="checkbox"/> 実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	システム開発の仕事やWeb・システムに関する技術動向について		6時間	
訓練時間総合計	426時間	学科 12時間	実技 408時間	企業実習 0時間	職場見学等 6時間
受講者の負担する費用	教科書代	その他 ()		備考 ()	合計 0円
訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する				
施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型) <input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型) <input type="checkbox"/> オンライン計 時間				
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	基礎から応用までをカバーする教材を選び、科目冒頭で概要を説明し、全体像を理解させた後に詳細に入っていきます。放課後には1時間の自習時間を設け、理解が浅いところや疑問点について解決することができます。また、オリジナルの学習Web動画も提供しており、復習にも最適です。 受講者のレベルに合わせて個別に訓練を進めず、遅れている受講者には、質疑応答の時間等を活用して補講を行い、習得度レベルの差を埋めます。進みが早い受講者には追加課題を与えます。理解を促すため、必要に応じて講師を2名体制にします。				

※1 企業実習を予定している場合は、様式第10~12号を作成のうえ提出してください。

※2 様式第6号の「日別計画表」を添付してください。

※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。

「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特にない場合はチェックは不要です。

※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数がかかるように記入してください。

※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。

※6 「オンライン計」については、算定対象訓練のうちオンラインで実施する訓練時間を記載してください。

(令和6年10月1日以降に申請する訓練科から適用)